

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2022年7月27日(水) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

| 項目コード | 検査項目 JLAC10 | 検体量 (mL) | 容器 | 保存 (安定性) | 所要 日数 | 実施料 判断料 | 検査 方法 | 基準値 (単位) | 備考 |
|--------|---|--------------------|-------------|-------------|----------------------------|------------|----------|-------------------|--|
| OM56 4 | コクリン-トモプロテイン (CTP) 5C260-0000-091-023 | 中耳 洗浄液 0.3mL | XR4 (L4) | 凍結 (28日) | 事前 にご確 認 くだ さい | 460 ※1 | ELISA | 30.0未満 (ng/mL) | 重 他項目との重 複依頼は避け てください。 &1 |

※1：尿・糞便等検査判断料



● コクリントモプロテイン（CTP）

外リンパ瘻の診断補助に有用な検査です。

外リンパ瘻とは、内耳を満たしている液体（内・外リンパ）が、内耳リンパ腔と周辺臓器の間に穴が生じ、外リンパが内耳から漏出することによって、難聴やめまいなどの症状が現れる疾患です。

コクリントモプロテイン（Cochlin-tomoprotein：CTP）は、外リンパ中に存在するコクリンのアイソフォームで、外リンパに特異的なタンパク質であることが知られています。中耳洗浄液からCTPが検出されると、外リンパの漏出と診断可能で、外リンパ瘻診断基準における確定診断項目のひとつとなっています。

この度、本検査は、外リンパ瘻の診断補助を目的とした中耳洗浄液中のCTPを測定する定量検査として保険収載されました。本検査につきましては、日本耳科学会より「外リンパ瘻の診断における Cochlin-tomoprotein（CTP）検査の運用指針」が展開されています。

▼疾患との関連

外リンパ瘻

▼検査要項

| | |
|----------|---|
| 検査項目名 | コクリントモプロテイン（CTP） |
| 項目コード | OM56 4 |
| 検体量 | 中耳洗浄液 0.3mL |
| 容器 | XR4（L4） |
| 保存方法 | 必ず凍結保存してください |
| 所要日数 | 事前にご確認ください |
| 検査方法 | ELISA |
| 基準値 | 30.0未満 (ng/mL) |
| 報告範囲（単位） | 8.9未満、8.9～999000（ng/mL） |
| 桁数 | 有効3桁、整数6桁、小数1桁 |
| 検査実施料 | 460点（「D007」血液化学検査「63」）*1 |
| 判断料 | 34点（尿・糞便等検査判断料） |
| 備考 | 重 他項目との重複依頼は避けてください。 &1 |

*1 検査実施料に関わる留意事項

ア コクリントモプロテイン（CTP）検出は、ELISA法により、外リンパ瘻を疑う患者に対して、診断のために中耳洗浄液中のコクリントモプロテイン（CTP）を測定した場合に、本区分の「63」血管内皮増殖因子（VEGF）の所定点数を準用して算定する。なお、本検査を実施する場合は関連学会が定める適正使用指針を遵守すること。

イ 本検査を実施した場合、区分番号「D026」検体検査判断料については、「1」尿・糞便等検査判断料を算定する。

●参考文献

池園 哲郎：Otology Japan 22（5）：911～917，2012。（検査方法参考文献）

日本耳科学会：外リンパ瘻の診断におけるCochlin-tomoprotein（CTP）検査の運用指針：2022。

（臨床的意義参考文献）